

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年8月26日～2030年8月7日	
運用方針	HSBC インドネシア債券マザーファンド 受益証券への投資を通じて、主にインドネシア共和国（「インドネシア」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）	HSBC インドネシア債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月7日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

HSBC インドネシア債券 オープン(毎月決算型)

運用報告書（全体版）

第163期	（決算日	2024年3月7日）
第164期	（決算日	2024年4月8日）
第165期	（決算日	2024年5月7日）
第166期	（決算日	2024年6月7日）
第167期	（決算日	2024年7月8日）
第168期	（決算日	2024年8月7日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）」は、2024年8月7日に第168期の決算を行いましたので、第163期～第168期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 ≪お問い合わせ先（投信営業本部）≫
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配					
	円		円		%		%	百万円
139期(2022年3月7日)	5,395		20		0.0	97.7	—	14,644
140期(2022年4月7日)	5,805		20		8.0	97.9	—	15,285
141期(2022年5月9日)	5,970		20		3.2	97.3	—	15,459
142期(2022年6月7日)	6,057		20		1.8	98.0	—	15,534
143期(2022年7月7日)	5,929		20		△1.8	98.5	—	14,915
144期(2022年8月8日)	5,931		20		0.4	97.2	—	14,757
145期(2022年9月7日)	6,274		20		6.1	97.6	—	15,454
146期(2022年10月7日)	6,207		20		△0.7	95.9	—	15,107
147期(2022年11月7日)	5,956		20		△3.7	97.4	—	14,401
148期(2022年12月7日)	5,813		20		△2.1	97.8	—	13,956
149期(2023年1月10日)	5,621		20		△3.0	97.7	—	13,317
150期(2023年2月7日)	5,887		20		5.1	97.8	—	13,914
151期(2023年3月7日)	5,878		20		0.2	97.8	—	13,795
152期(2023年4月7日)	5,936		20		1.3	97.7	—	13,873
153期(2023年5月8日)	6,182		20		4.5	97.7	—	14,398
154期(2023年6月7日)	6,381		20		3.5	98.1	—	14,606
155期(2023年7月7日)	6,553		20		3.0	97.6	—	15,006
156期(2023年8月7日)	6,392		20		△2.2	98.0	—	14,625
157期(2023年9月7日)	6,532		20		2.5	97.7	—	14,886
158期(2023年10月10日)	6,154		20		△5.5	97.6	—	13,980
159期(2023年11月7日)	6,319		20		3.0	97.5	—	14,286
160期(2023年12月7日)	6,346		20		0.7	98.1	—	14,124
161期(2024年1月9日)	6,233		20		△1.5	98.5	—	13,701
162期(2024年2月7日)	6,310		20		1.6	97.3	—	13,601
163期(2024年3月7日)	6,362		20		1.1	98.0	—	13,591
164期(2024年4月8日)	6,427		20		1.3	97.9	—	13,689
165期(2024年5月7日)	6,357		25		△0.7	97.6	—	13,483
166期(2024年6月7日)	6,348		25		0.3	98.3	—	13,274
167期(2024年7月8日)	6,490		25		2.6	98.4	—	13,532
168期(2024年8月7日)	6,030		25		△6.7	97.7	—	12,454

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、動向きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第163期	(期 首) 2024年2月7日	円 6,310	% —		% 97.3		% —
	2月末	6,458	2.3		97.8		—
	(期 末) 2024年3月7日	6,382	1.1		98.0		—
第164期	(期 首) 2024年3月7日	6,362	—		98.0		—
	3月末	6,428	1.0		97.6		—
	(期 末) 2024年4月8日	6,447	1.3		97.9		—
第165期	(期 首) 2024年4月8日	6,427	—		97.9		—
	4月末	6,357	△1.1		97.3		—
	(期 末) 2024年5月7日	6,382	△0.7		97.6		—
第166期	(期 首) 2024年5月7日	6,357	—		97.6		—
	5月末	6,426	1.1		97.8		—
	(期 末) 2024年6月7日	6,373	0.3		98.3		—
第167期	(期 首) 2024年6月7日	6,348	—		98.3		—
	6月末	6,496	2.3		98.5		—
	(期 末) 2024年7月8日	6,515	2.6		98.4		—
第168期	(期 首) 2024年7月8日	6,490	—		98.4		—
	7月末	6,216	△4.2		97.3		—
	(期 末) 2024年8月7日	6,055	△6.7		97.7		—

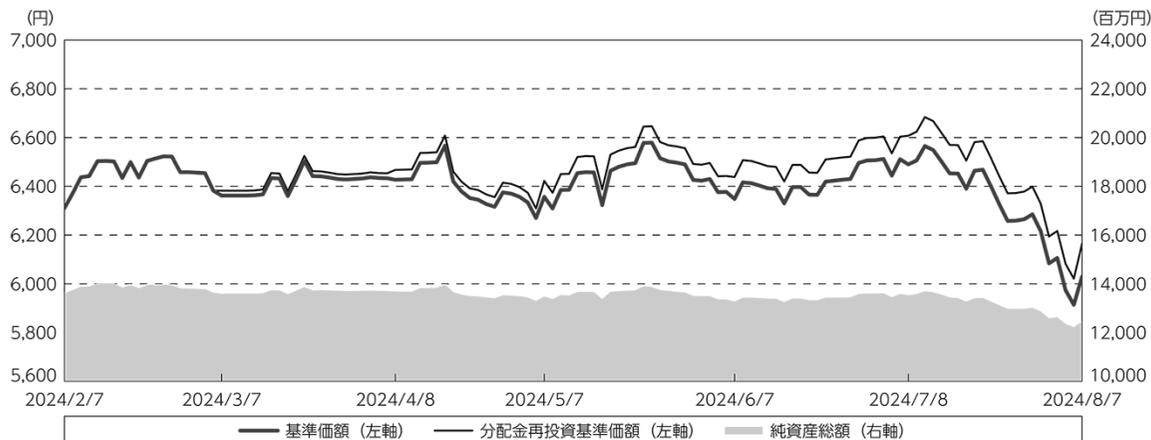
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第163期～第168期：2024年2月8日～2024年8月7日）



第163期首：6,310円

第168期末：6,030円（既払分配金（税込み）：140円）

騰落率：△ 2.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年2月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入がプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入銘柄の債券価格の下落（利回りは上昇）がマイナスに寄与しました。また、インドネシアルピアが対円で下落したこともマイナスに働きました。

投資環境について

【債券市況】

当作成期のインドネシア国債市場は前作成期末比で下落（利回りは上昇）しました。市場は作成期初から2024年4月中旬にかけて一定範囲内で推移したのち、異常気象による食料価格の高騰を背景とした予想外の利上げから5月初旬にかけて下落（利回りは上昇）しました。その後、同月中旬にかけてインフレの落ち着きにより上昇（利回りは低下）傾向に転じたものの、インドネシアルピアの軟調から政策金利が据え置かれたことに伴い6月中旬にかけて下落（利回りは上昇）傾向となりました。作成期末にかけては、インドネシアルピアが対米ドルにて安定化してきたため、緩和余地が生じてきたことを背景に上昇（利回りは低下）傾向となりました。

【為替相場】

当作成期のインドネシアルピアは円に対して前作成期末比で下落しました。インドネシアルピアは対円で作成期初から2024年6月中旬にかけて一進一退を繰り返しながらも一定範囲内で推移したのち、7月上旬にかけて日米金利差が改めて意識されたことによる米ドル高・円安進行の流れを受けて上昇傾向となりました。その後、インドネシアルピアの対円相場は予想外の日銀の早期利上げに伴い8月上旬にかけて急落したものの、作成期末にかけては日銀関係者のハト派的な発言により反発しました。

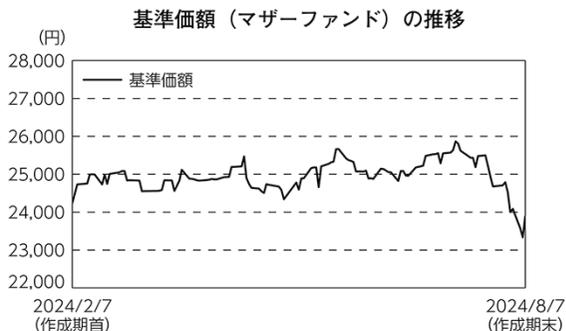
ポートフォリオについて

<HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>

「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシア政府が発行する現地通貨建債券に投資しました。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が66～74%、10年以上の債券は25～33%としました。なお、作成期を通じて、組入債券のデュレーションは5.7～5.9年程度に維持しました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

第163期から第168期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
	2024年2月8日～ 2024年3月7日	2024年3月8日～ 2024年4月8日	2024年4月9日～ 2024年5月7日	2024年5月8日～ 2024年6月7日	2024年6月8日～ 2024年7月8日	2024年7月9日～ 2024年8月7日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.313%	20 0.310%	25 0.392%	25 0.392%	25 0.384%	25 0.413%
当期の収益	20	20	22	24	25	23
当期の収益以外	—	—	2	0	—	1
翌期繰越分配対象額	723	733	731	730	737	736

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

世界経済の成長に下振れリスクが依然残るなか、インドネシアでは比較的高い経済成長、相対的に高い実質利回り、インフレの抑制、財政の健全化、国債の良好な需給環境が見られ、同国の債券市場は引き続き魅力的な投資先であると考えます。今後も、インドネシアの堅固なファンダメンタルズやインフレの落ち着きが見込まれる一方、世界経済の動向などには引き続き注視してまいります。

<HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)>

「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債の組入比率を高めに維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年2月8日～2024年8月7日)

項 目	第163期～第168期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.848	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(28)	(0.438)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（ 販 売 会 社 ）	(24)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.068	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.041)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.024)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	58	0.916	
作成期中の平均基準価額は、6,396円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

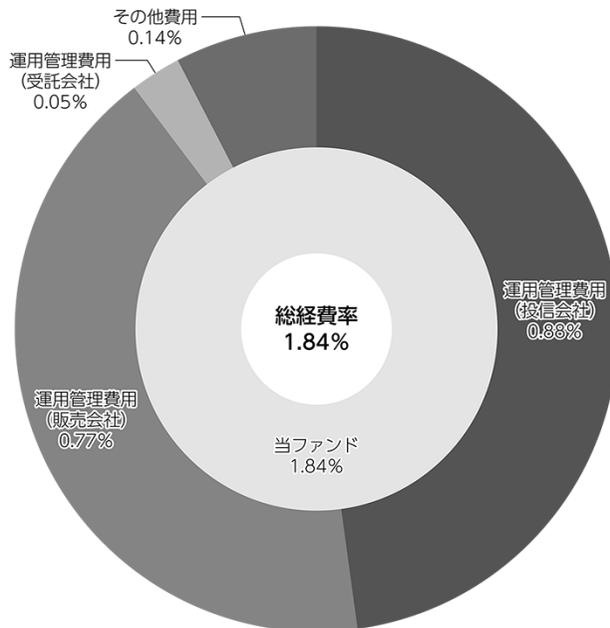
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり1円）が含まれます。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月8日～2024年8月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第163期～第168期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千口 111,527	千円 278,122	千口 503,758	千円 1,256,744

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月8日～2024年8月7日)

利害関係人との取引状況

<HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>
該当事項はございません。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

区分	第163期～第168期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2,610	百万円 —	% —	百万円 3,631	百万円 180	% 5.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2024年8月7日現在)

親投資信託残高

銘柄	第162期末	第168期末	
	口数	口数	評価額
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千口 5,636,420	千口 5,244,189	千円 12,526,272

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年8月7日現在)

項 目	第168期末	
	評 価 額	比 率
HSBC インドネシア債券マザーファンド	千円 12,526,272	% 99.8
コール・ローン等、その他	23,161	0.2
投資信託財産総額	12,549,433	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC インドネシア債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(12,449,403千円)の投資信託財産総額(12,549,632千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=147.04円、100インドネシアルピア=0.91円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末	第168期末
	2024年3月7日現在	2024年4月8日現在	2024年5月7日現在	2024年6月7日現在	2024年7月8日現在	2024年8月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,684,426,304	13,767,476,242	13,571,757,867	13,412,133,219	13,644,093,447	12,549,433,991
HSBC インドネシア債券マザーファンド(評価額)	13,654,161,805	13,754,566,743	13,557,830,053	13,349,804,687	13,608,019,066	12,526,272,073
未収入金	30,264,499	12,909,499	13,927,814	62,328,532	36,074,381	23,161,918
(B) 負債	92,573,783	77,700,997	87,855,021	137,722,336	111,914,195	95,046,408
未払収益分配金	42,728,077	42,597,686	53,025,655	52,280,072	52,127,381	51,636,008
未払解約金	30,264,499	12,909,499	13,927,814	62,328,532	36,074,381	23,161,918
未払信託報酬	18,756,166	20,468,412	18,368,177	19,713,221	19,456,092	18,434,298
その他未払費用	825,041	1,725,400	2,533,375	3,400,511	4,256,341	1,814,184
(C) 純資産総額(A-B)	13,591,852,521	13,689,775,245	13,483,902,846	13,274,410,883	13,532,179,252	12,454,387,583
元本	21,364,038,830	21,298,843,127	21,210,262,170	20,912,028,892	20,850,952,485	20,654,403,235
次期繰越損益金	△ 7,772,186,309	△ 7,609,067,882	△ 7,726,359,324	△ 7,637,618,009	△ 7,318,773,233	△ 8,200,015,652
(D) 受益権総口数	21,364,038,830口	21,298,843,127口	21,210,262,170口	20,912,028,892口	20,850,952,485口	20,654,403,235口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,362円	6,427円	6,357円	6,348円	6,490円	6,030円

(注) 当ファンドの第163期首元本額は21,553,969,979円、第163～168期中追加設定元本額は433,566,986円、第163～168期中一部解約元本額は1,333,133,730円です。

(注) また、1口当たり純資産額は、第163期0.6362円、第164期0.6427円、第165期0.6357円、第166期0.6348円、第167期0.6490円、第168期0.6030円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況

項 目	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
	2024年2月8日～ 2024年3月7日	2024年3月8日～ 2024年4月8日	2024年4月9日～ 2024年5月7日	2024年5月8日～ 2024年6月7日	2024年6月8日～ 2024年7月8日	2024年7月9日～ 2024年8月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	171,120,570	202,765,638	△ 76,856,302	52,040,034	368,297,638	△ 882,781,582
売買益	175,688,068	203,754,778	534,793	56,106,905	370,483,306	3,664,559
売買損	△ 4,567,498	△ 989,140	△ 77,391,095	△ 4,066,871	△ 2,185,668	△ 886,446,141
(B) 信託報酬等	△ 19,581,207	△ 21,368,771	△ 19,176,152	△ 20,580,357	△ 20,311,922	△ 15,992,141
(C) 当期損益金(A+B)	151,539,363	181,396,867	△ 96,032,454	31,459,677	347,985,716	△ 898,773,723
(D) 前期繰越損益金	212,429,277	319,298,542	455,321,051	301,501,367	278,936,920	568,331,724
(E) 追加信託差損益金	△8,093,426,872	△8,067,165,605	△8,032,622,266	△7,918,298,981	△7,893,568,488	△7,817,937,645
(配当等相当額)	(712,407,872)	(713,499,400)	(712,822,528)	(705,724,864)	(707,203,776)	(702,890,998)
(売買損益相当額)	(△8,805,834,744)	(△8,780,665,005)	(△8,745,444,794)	(△8,624,023,845)	(△8,600,772,264)	(△8,520,827,743)
(F) 計(C+D+E)	△7,729,458,232	△7,566,470,196	△7,673,333,669	△7,585,337,937	△7,266,645,852	△8,148,379,644
(G) 収益分配金	△ 42,728,077	△ 42,597,686	△ 53,025,655	△ 52,280,072	△ 52,127,381	△ 51,636,008
次期繰越損益金(F+G)	△7,772,186,309	△7,609,067,882	△7,726,359,324	△7,637,618,009	△7,318,773,233	△8,200,015,652
追加信託差損益金	△8,093,426,872	△8,067,165,605	△8,032,622,266	△7,918,298,981	△7,893,568,488	△7,817,937,645
(配当等相当額)	(712,556,052)	(713,681,935)	(712,939,655)	(705,905,345)	(707,388,114)	(703,017,590)
(売買損益相当額)	(△8,805,982,924)	(△8,780,847,540)	(△8,745,561,921)	(△8,624,204,326)	(△8,600,956,602)	(△8,520,955,235)
分配準備積立金	832,370,485	849,179,204	837,627,955	821,584,347	830,521,392	818,007,247
繰越損益金	△ 511,129,922	△ 391,081,481	△ 531,365,013	△ 540,903,375	△ 255,726,137	△1,200,085,254

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第163期計算期間末における費用控除後の配当等収益(57,396,010円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(712,556,052円)および分配準備積立金(817,702,552円)より分配対象収益は1,587,654,614円(10,000口当たり743円)であり、うち42,728,077円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第164期計算期間末における費用控除後の配当等収益(64,822,549円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(713,681,935円)および分配準備積立金(826,954,341円)より分配対象収益は1,605,458,825円(10,000口当たり753円)であり、うち42,597,686円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第165期計算期間末における費用控除後の配当等収益(46,848,603円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(712,939,655円)および分配準備積立金(843,805,007円)より分配対象収益は1,603,593,265円(10,000口当たり756円)であり、うち53,025,655円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第166期計算期間末における費用控除後の配当等収益(50,251,914円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(705,905,345円)および分配準備積立金(823,612,505円)より分配対象収益は1,579,769,764円(10,000口当たり755円)であり、うち52,280,072円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第167期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,600,119円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(707,388,114円)および分配準備積立金(816,048,654円)より分配対象収益は1,590,036,887円(10,000口当たり762円)であり、うち52,127,381円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第168期計算期間末における費用控除後の配当等収益(48,664,014円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(703,017,590円)および分配準備積立金(820,979,241円)より分配対象収益は1,572,660,845円(10,000口当たり761円)であり、うち51,636,008円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、16,890,923円です。

○分配金のお知らせ

	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
1万円当たり分配金(税込み)	20円	20円	25円	25円	25円	25円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの部分(特別分配金)は普通分配となります。元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

ありません。

◆親投資信託「HSBC インドネシア債券マザーファンド」の運用状況
第14期（2023年8月8日～2024年8月7日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にインドネシアの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限り、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
10期(2020年8月7日)	円		%	%	%	百万円
11期(2021年8月10日)	15,506		7.1	97.3	—	21,278
12期(2022年8月8日)	17,632		13.7	97.4	—	16,905
13期(2023年8月7日)	20,956		18.9	96.8	—	14,831
14期(2024年8月7日)	23,891		14.0	97.5	—	14,694
	23,886		△ 0.0	97.2	—	12,526

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

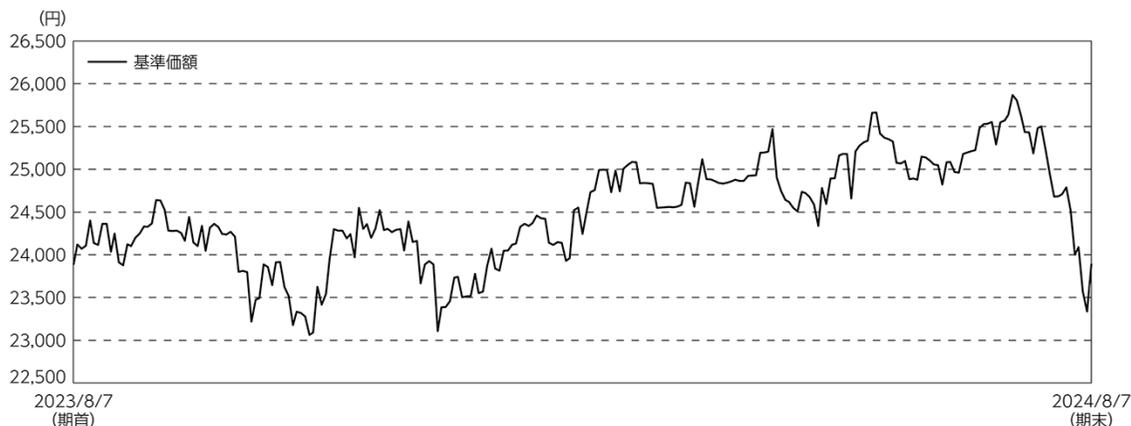
年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰 落	率						
	(期 首)		円		%			%			%
	2023年	8月7日	23,891		—			97.5			—
	8月末		24,330		1.8			97.6			—
	9月末		24,236		1.4			97.7			—
	10月末		23,091		△3.3			97.3			—
	11月末		24,294		1.7			97.8			—
	12月末		23,568		△1.4			98.2			—
	2024年	1月末	24,141		1.0			97.7			—
	2月末		24,836		4.0			97.7			—
	3月末		24,832		3.9			97.5			—
	4月末		24,672		3.3			97.2			—
	5月末		25,076		5.0			97.7			—
	6月末		25,485		6.7			98.3			—
	7月末		24,520		2.6			97.2			—
	(期 末)										
	2024年	8月7日	23,886		△0.0			97.2			—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第14期：2023年8月8日～2024年8月7日）



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入がプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入銘柄の債券価格の下落（利回りは上昇）がマイナスに寄与しました。また、インドネシアルピアが対円で下落したこともマイナスに働きました。

投資環境について

【債券市況】

当期のインドネシア国債市場は前期末比で下落（利回りは上昇）しました。市場は期初から2023年10月下旬にかけて米国の金融引き締め長期化観測、国内の上上げなどから途中大きく上下に振れながらも下落（利回りは上昇）傾向となったのち、インフレの落ち着きを背景とした政策金利の据え置きにより2024年1月初旬にかけて途中上下動を見せながらも上昇（利回りは低下）傾向に転じました。その後、4月中旬にかけて方向感に欠ける動きとなったものの、異常気象による食料価格の高騰を背景とした予想外の上上げに伴い5月初旬にかけて下落（利回りは上昇）しました。6月中旬にかけては一進一退の展開となったのち、インドネシアルピアが対米ドルにて安定化してきたため、緩和余地が生じてきたことから期末にかけては上昇（利回りは低下）傾向となりました。

【為替相場】

当期のインドネシアルピアは円に対して前期末比で下落しました。インドネシアルピアは対円で、期初から2023年11月中旬にかけて一定範囲内で推移したのち、日銀のマイナス金利政策の解除観測から12月中旬にかけて下落しました。その後、インドネシアルピアの対円相場は2024年7月上旬にかけて日米金利差が改めて意識されたことによる米ドル高・円安進行の流れを受けて上昇基調となったのち、予想外の日銀の早期利上げに伴い8月上旬にかけて急落したものの、期末にかけては日銀関係者のハト派的な発言により反発しました。

ポートフォリオについて

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が64～74%、10年以上の債券は25～35%としました。なお、期を通じて、組入債券のデュレーションは5.7～6.1年程度に維持しました。

今後の運用方針

世界経済の成長に下振れリスクが依然残るなか、インドネシアでは比較的高い経済成長、相対的に高い実質利回り、インフレの抑制、財政の健全化、国債の良好な需給環境が見られ、同国の債券市場は引き続き魅力的な投資先であると考えます。今後も、インドネシアの堅固なファンダメンタルズやインフレの落ち着きが見込まれる一方、世界経済の動向などには引き続き注視してまいります。

こうしたなか、上述の懸念材料に留意しながら、引き続き中・長期国債の組入比率を高め維持する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年8月8日～2024年8月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(20)	(0.082)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(12)	(0.051)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	33	0.133	
期中の平均基準価額は、24,423円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(a)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり12円）が含まれます。

○売買及び取引の状況

(2023年8月8日～2024年8月7日)

公社債

			買付額	売付額
外国	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 219,073,350	千インドネシアルピア 365,605,230

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月8日～2024年8月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	6,588	44	0.7%	8,806	581	6.6%

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド(東京)です。

○組入資産の明細

(2024年8月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インドネシア	千インドネシアルピア 1,312,000,000	千インドネシアルピア 1,337,348,080	千円 12,169,867	% 97.2	% —	% 65.2	% 23.2	% 8.8
合 計	1,312,000,000	1,337,348,080	12,169,867	97.2	—	65.2	23.2	8.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
インドネシア		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円	
	国債証券					
	INDOGB 5.125% 04/15/2027	5.125	35,000,000	33,760,650	307,221	2027/4/15
	INDOGB 5.5% 04/15/2026	5.5	92,000,000	90,545,480	823,963	2026/4/15
	INDOGB 6.125% 05/15/2028	6.125	52,000,000	51,260,040	466,466	2028/5/15
	INDOGB 6.25% 06/15/2036	6.25	30,000,000	28,711,500	261,274	2036/6/15
	INDOGB 6.375% 04/15/2032	6.375	40,000,000	39,050,400	355,358	2032/4/15
	INDOGB 6.375% 08/15/2028	6.375	65,000,000	64,549,550	587,400	2028/8/15
	INDOGB 6.5% 02/15/2031	6.5	80,000,000	79,122,400	720,013	2031/2/15
	INDOGB 6.5% 06/15/2025	6.5	30,000,000	30,001,500	273,013	2025/6/15
	INDOGB 6.625% 02/15/2034	6.625	30,000,000	29,607,600	269,429	2034/2/15
	INDOGB 6.625% 05/15/2033	6.625	81,000,000	79,992,360	727,930	2033/5/15
	INDOGB 6.875% 04/15/2029	6.875	5,000,000	5,045,400	45,913	2029/4/15
	INDOGB 7% 02/15/2033	7.0	30,000,000	30,380,400	276,461	2033/2/15
	INDOGB 7% 05/15/2027	7.0	79,000,000	80,052,280	728,475	2027/5/15
	INDOGB 7% 09/15/2030	7.0	87,000,000	88,407,660	804,509	2030/9/15
	INDOGB 7.125% 06/15/2038	7.125	50,000,000	50,765,250	461,963	2038/6/15
	INDOGB 7.125% 06/15/2042	7.125	46,000,000	46,541,880	423,531	2042/6/15
	INDOGB 7.125% 06/15/2043	7.125	32,000,000	32,466,720	295,447	2043/6/15
	INDOGB 7.5% 04/15/2040	7.5	47,000,000	49,246,600	448,144	2040/4/15
	INDOGB 7.5% 05/15/2038	7.5	58,000,000	60,763,700	552,949	2038/5/15
	INDOGB 7.5% 06/15/2035	7.5	77,000,000	80,641,330	733,836	2035/6/15
	INDOGB 7.5% 08/15/2032	7.5	50,000,000	52,104,500	474,150	2032/8/15
	INDOGB 8.25% 05/15/2029	8.25	80,000,000	85,008,000	773,572	2029/5/15
	INDOGB 8.25% 06/15/2032	8.25	56,000,000	60,596,480	551,427	2032/6/15
	INDOGB 8.375% 03/15/2034	8.375	80,000,000	88,726,400	807,410	2034/3/15
合	計				12,169,867	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

○投資信託財産の構成

(2024年8月7日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	12,169,867	97.0
コール・ローン等、その他	379,765	3.0
投資信託財産総額	12,549,632	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(12,449,403千円)の投資信託財産総額(12,549,632千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=147.04円、100インドネシアルピア=0.91円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,549,632,118
コール・ローン等	161,774,731
公社債(評価額)	12,169,867,528
未収利息	213,782,419
前払費用	4,207,440
(B) 負債	23,161,918
未払解約金	23,161,918
(C) 純資産総額(A-B)	12,526,470,200
元本	5,244,189,933
次期繰越損益金	7,282,280,267
(D) 受益権総口数	5,244,189,933口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,886円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	6,150,499,572円
期中追加設定元本額	252,226,797円
期中一部解約元本額	1,158,536,436円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
 H S B C インドネシア債券オープン(毎月決算型) 5,244,189,933円

○お知らせ

ありません。

○損益の状況 (2023年8月8日～2024年8月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	805,978,458
受取利息	805,998,254
支払利息	△ 19,796
(B) 有価証券売買損益	△ 742,100,370
売買益	110,498,753
売買損	△ 852,599,123
(C) 保管費用等	△ 18,172,589
(D) 当期損益金(A+B+C)	45,705,499
(E) 前期繰越損益金	8,543,613,313
(F) 追加信託差損益金	364,576,574
(G) 解約差損益金	△1,671,615,119
(H) 計(D+E+F+G)	7,282,280,267
次期繰越損益金(H)	7,282,280,267

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。